

て小生の目指せし學者、先生達には今尙ほ面會の機會を得ずすこし居り候。しかしラ先生にはサ氏より已に書面にて申送り吳れられ候旨も有之不日拜顔の機會を得べく、サ氏も旬日ならずして歸波の豫定との事にて、それを當てにして一日くと過し居り候ひしが、丁度新設の人種博物館には東方部長の人が日々出勤との事を聞き、早速紹介を得て、面會、觀覽を乞ひ候處、まだ公開には及び居らぬ處に候へども、早速心よく承諾致し吳れられ、一昨々日以來茲に通ひ居り申候。こゝの一部には例のコヅロフ大佐蒐集品の中重に繪畫を陳列致し居り候。これは狩野先生よりかねて承り居りたる處に候へども、來て見ればまた更にその立派さに驚き入り申し候繪のことはよくも解らず候へども、佛畫の縁邊、もしくは小さき佛像を幾つともなく横に並べ畫ける下に、佛名とも覺しく、書き連ねたる西夏文字を見、且は此の文字にて記せる文書、佛典等が、こゝには陳列せざれど、イヴノフ氏の手許に無數に保存せられありなどきいては、僅かに三枚の西夏文字資料を稀世の珍として尊重せざるべからざる我等の境遇に染み染み寂莫を感じ申候、丁度此處の繪畫の重なるものは東京の瀧教授より當大使館の上田氏を經て、かねてより寫眞の儀を申し込みありたるよしにて、度々の催促によりて、漸く此頃出來の運びに相成り候よし、就ては京都大學の爲にも、今一通の調製を許されたき旨依頼致し置候へば、不日入手致し得ることと奉存候。かゝる次第にて日々此の博物館をはじめ、エルミターデュ、アレキサンデル三世博物館等をあさりあるき居り候、暇には語學の稽古に浮身をやつし居り申し候（下略）